

！チャレンジ！

家庭菜園



生育旺盛な健康野菜

キクイモは、やや冷涼な気候に適し、生育期間は中間地では4～10月で、10月頃に開花し、収穫期は茎葉が枯れる11月からで、ショウガに似た塊茎を収穫します。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地				▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
中間地	■	■	■	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	■
暖地	■	■	■	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	■

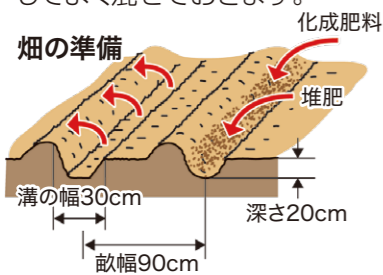
▲ 植え付け ■ 生育 ■ 収穫

1 品種

塊茎の表皮が白色と紫色の系統があり、紫種がやや大型です。

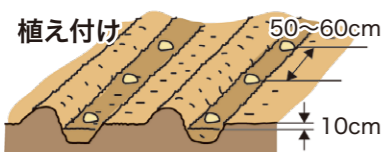
2 畑の準備

植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを施しよく耕します。1週間前に畝間90cm、深さ20cmの溝を掘り、畝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100gと堆肥1kg程度を施し、土を戻してよく混ぜておきます。



3 植え付け

種芋(塊茎)は重さ20g程度に切り分け、深さ10cm程度に、株間50～60cm間隔で植え付けます。



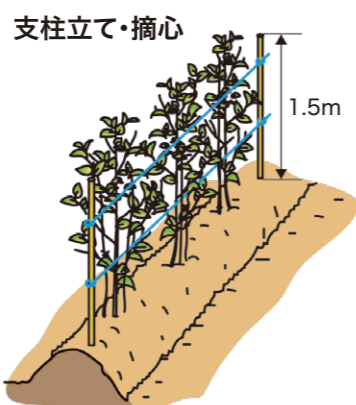
4 管理

どんな土でもよく育ちますが、過湿を嫌うため、やや乾燥気味に管理します。塊茎から多くの芽が出る時は、芽かきをして、2、3本に整理します。

5 支柱立て・摘心

草丈が3mにも伸びて倒れやすくなるので、十分に土寄せをし、1.5m程度の支柱を立て株の周囲にひもを巡らせ倒伏を防ぎます。

さらに草丈が支柱の高さの頃、茎の先端を摘心します。10月頃からヒマワリに似た黄色の花が開花します。日持ちの良い切り花としても観賞できます。



6 病害虫の防除

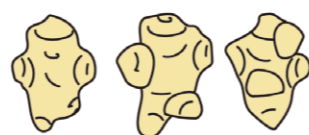
強健で病害虫の被害は少ない野菜ですが、生育後半にはうどんこ病が発生することがあります。気になる時は、カリグリーンなど野菜類の登録農薬で防除します。

7 収穫

茎葉が枯れてきたら、地際から茎葉を刈り取って、塊茎を収穫します。掘り上げた塊茎はしなびやすいため、3月までは土中に置いて必要に応じて収穫しましょう。収穫後はポリ袋に入れ、冷蔵庫の野菜室で保管します。

なお、畑に残した塊茎は野生化してはびこるので、全て掘り上げます。

収穫



監修：園芸研究家 / 成松次郎

※ 関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



三島函南地区
営農販売課

トップ営農指導員
はかまだ ゆう た
袴田 優大



収支シミュレーションで資材価格高騰の影響を可視化

三島函南地区のレタスでは、シミュレーションの結果から下記3点の取り組みを始めています。

経営改善への提案

レタスでの収支シミュレーションは過去2年分の販売単価を収入の基礎として、生産・出荷経費と人件費の高騰前後における1玉あたりの所得率を算出しています。三島函南地区でのシミュレーションでは1玉あたり7・37円の経費が上がり、所得を圧迫していることが分かりました。詳細な分析では保温・包装資材と人件費の影響が大きという課題が明確になりました。

冬レタスでの試算

近年の資材価格高騰を受け、三島函南地区では農作物原単位表*を作り、営農アドバイザーが担当する各生産品目で収支を可視化するシミュレーションを作成。さらにその結果を「事業性評価シート」に反映し、担当者が課題意識を持って日々の業務に取り組み、生産者の経営改善に寄与する提案に役立てています。
*農作物原単位表とは、農作物の生産に必要な「もの」や「時間」、「費用」などを詳細に示した表。

三島函南地区の事例概要

① 保温ビニールの見直し
廉価版ビニールの導入と生育調査

② 作業機械化の導入検討
定植機の実演による労働生産性の改善

③ 包装ラップの変更、ノーラップ出荷の強化
所得率の高い販路拡大

玉当たり7.37円の経費が高騰

【経費高騰前】

● 6,400玉/10a収穫と想定
販売金額: 672,000円/玉単価105円
経費合計: 62.96円/玉
所得金額: 42.04円/玉
所得率: 40.0%

【経費高騰後】

● 6,400玉/10a収穫と想定
販売金額: 672,000円/玉単価105円
経費合計: 70.33円/玉
所得金額: 34.67円/玉
所得率: 33.0%

営農部営農課から一言

三島函南地区では「事業性評価シート」を活用した営農支援を行い、生産者との信頼関係を築くことで、密度の濃い生産者支援を実現しています。

こうした事例を参考に、JAふじ伊豆全体の営農指導事業のレベルアップを図っていきます。



「事業性評価シート」を使って生産者と経営方針を話し合う営農アドバイザー(右)